

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	雪印がミルク株式会社 新工場棟	階数	地上6F
建設地	海老名市	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	300人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年9月 予定	評価の実施日	2011年6月1日
敷地面積	48,951 m <sup>2</sup>	作成者	(株)オー・エヌ・オー大野設計
建築面積	7,749 m <sup>2</sup>	確認日	2011年6月1日
延床面積	24,376 m <sup>2</sup>	確認者	(株)オー・エヌ・オー大野設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

環境品質 Q (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 4  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.8

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>既存の冷蔵保管庫に増築する形で、工場の製造エリア、事務エリアのゾーニングを明確に行い、全体の配置を行った。製造エリアについては、各室に求められる清浄度や水の使用に応じた仕上や室空間を盛り込んだ計画とした。また、建物機能を継続して利用していくため、更新、拡張時や修繕時のメンテナンス性を見込み設備機器のスペースを確保し、仕上材の耐用年数や改修性に配慮した。</p>	<p>特になし。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b> 事務エリアの音や温熱環境の設定は、標準的ではあるが、工場の製造エリアとのゾーニングを明確に行っており、道路に面し、サッシ開口を極力、設けている。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 既存工場に対する増築であるが、周囲の状況に調和させ、既存緑地の確保を行う。また、出入口を一元管理することで、防犯性、防災性を強化する。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b> 主要なエネルギー消費を把握し、分析を行い、年間エネルギーの消費量の目標値の計画している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> 工場周囲の環境に配慮し、騒音、振動、悪臭に対して、対策を行う。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたし